

碧海

HEKIKAI

「碧海」とは、西三河平野南部に広がる碧海台地全域と、西の境川から東の矢作川流域にわたる碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市の5市からなる地域で、市政が施行される前の郡の名前です。



油が淵(安城市・碧南市)

この地域は、大正末期から昭和初期（1920年代～1930年代）にかけて「日本のデンマーク」と呼ばれ、米、麦のほか、日本一の養鶏や「安城梨」と言われた梨の生産も盛んに行われていました。



日本一のいちじく産地(安城市)



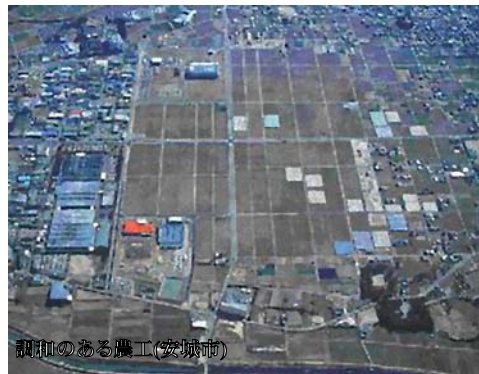
今も、温暖な気候と明治用水などの水利に恵まれ、全国をリードする大規模な米・麦・大豆作を始め、日本一のイチジク、県内一のにんじん、たまねぎの産地であるなど本県を代表する農業地帯です。



大規模な麦作(安城市)



また、この地域は、立地条件の良さから沿岸部には衣浦臨海工業地帯が拓け、内陸には自動車関連産業が数多く立地し、県下の主要な工業地帯ともなっています。



調剤のある農工(安城市)

さらに、国の天然記念物に指定されているカキツバタの群落や県下唯一の天然湖沼である油が淵など豊かな自然環境にも恵まれた地域です。